



お茶の京都

Discover
Premium
Green

「鉄版一切経版木」(重要文化財)

活字文化の象徴「明朝体」の起源とされる版木を間近で見る特別展と収蔵庫見学ツアーを行います。

黄檗文化を今に問う

明朝体のルーツ



※写真はコロナ禍以前のものです

2021年11月23日【火祝】～28日【日】 萬福寺・宝蔵院

【時間】 9:00～17:00(受付16:30まで) 【アクセス】 JR奈良線・京阪宇治線「黄檗駅」徒歩5分

【料金】 前売り 1,800円／当日 2,000円／まるごと黄檗文化体験プラン 6,100円

【お問い合わせ先】 お茶の京都DMO:京都府宇治市宇治乙方7-13 TEL.0774-25-3239

新型コロナウイルスの感染状況により、内容を変更又は中止することがあります。最新情報はお茶の京都DMOのHPでご確認ください。

本イベントは、文化庁「ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」採択事業です。

主催:お茶の京都DMO 協力:黄檗山萬福寺・黄檗山宝蔵院、京阪ホールディングス株式会社 宣伝協力:西日本旅客鉄道株式会社

公式サイトは
こちら



日本で広く親しまれている『明朝体』や原稿用紙の起源とされているのが、京都府宇治市の黄檗山萬福寺の塔頭の一つ『宝蔵院』に収蔵されている『鉄眼版一切経版木』(重要文化財)です。『一切経』とは、仏教思想をはじめ、天文・人文・医術・薬学・人道など社会のあらゆる面を説いた仏教の百科事典ともいわれています。約6万枚のうち48,275枚の版木が国の重要文化財に指定されています。現代では印刷物やデザインなど“活字文化の象徴”である『明朝体』をテーマに特別展示や体験コンテンツを多く開催します。



〔鉄眼版一切経版木〕(重要文化財)

一般非公開の法堂で特別展示 [萬福寺 法堂]

一般非公開の法堂(重文)は静寂な座禅空間。そこでクリエイティブな解説パネルや映像で明朝体のルーツや黄檗文化を紹介。訪れる人の知的好奇心を刺激します。



圧巻約6万枚版木を見学ツアー [宝蔵院]

隠元と鉄眼。出会いが生んだ圧巻約6万枚の版木。今なお墨の香りと340年以上続く木版印刷の刷り音。その一切合切のご縁を僧侶らがご案内します。



- ※見学ツアーは萬福寺法堂前受付・出発となります。
- ※都合により刷り作業がご覧にならない場合があります。

お寺で読書 [萬福寺 禅堂書院]

通常では入手困難な絶版書や展示会図録など京都の有名書店がご用意。その名も「禅堂書院」にて萬福寺を取り巻く歴史や文化など豊かな世界の一端を知って頂きます。



プログラム

- ◆圧巻約6万枚一切経版木。宝蔵院収蔵庫見学ツアー 萬福寺法堂前受付・集合 鉄眼版一切経版木収蔵庫を僧侶又は宇治観光ボランティアガイドの説明付きでご案内します。約30分～40分のツアーです。
10:00～/11:00～/12:00～/13:00～/14:00～/15:00～
- ◆萬福寺伽藍見学ツアー 萬福寺法堂前受付・集合 異国情緒あふれる中国明朝様式の寺院建築の魅力を僧侶がご案内します。約30分のツアーです。
12:30～/15:00～
- ◆まるごと黄檗文化体験プラン 萬福寺法堂前受付・9:50集合(要予約) 僧侶指導による座禅指導、僧侶による萬福寺伽藍案内の後、中国風精進料理で普茶料理をお召し上がりください。普茶料理の後は、宝蔵院収蔵庫見学ツアーをお楽しみ頂けます。
11月23日(火・祝)・11月28日(日) 両日共に10:00～13:00頃(定員10名) お一人様 6,100円(拝観料:萬福寺500円、宝蔵院300円含む)

萬福寺僧侶による座禅指導(約1時間) [有料:お一人様 1,000円]

一般非公開の萬福寺西方丈で僧侶指導による座禅体験を味わえます。
11月23日(火・祝) ①10:00～
11月24日(水)～11月26日(金) ①10:00～、②12:00～、③14:00～
11月28日(日) ①10:00～ ※11月27日(土)は座禅体験はございません。

萬福寺鐘楼(重要文化財)で自由写経(自由)

1字1字気持ちを込めて、4文字の自由写経を体験しませんか?

普茶料理(要予約)

萬福寺にて隠元禪師が中国から伝えた精進料理「普茶料理」をご賞味いただけます。(予約先/萬福寺 TEL:0774-32-3900)

講演会やワークショップ

一般非公開の萬福寺西方丈で、クリエイティブディレクターや知識人による講演会のほか、「明朝体」の世界を体験できるワークショップを行います。

講師 11/23(火・祝)・11/28(日)

11/23
(火・祝)



服部滋樹(クリエイティブディレクター/デザイナー)

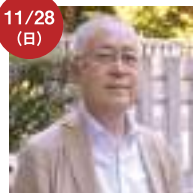
graf代表、京都芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。

「明朝体のルーツ ～黄檗文化を今に問う～」

時間:13:30～(約1時間30分) 先着順(定員約30名)

多岐に渡るクリエイティブな活動からジャンルにとらわれない独自の視点で鼎談交えお話し頂きます。

11/28
(日)



松永 知海(元佛教大学仏教学部教授)

専門分野:日本の大蔵経出版史、近世浄土宗学僧の研究。

「～版木は語る～」

現代に継承される大蔵経と黄檗文化」

時間:13:30～(約1時間) 先着順(定員約30名)

長年にわたる大蔵経(一切経)の研究による独自の視点から講演を頂きます。

ワークショップ 11/27(土)

11/27
(土)



明朝体のルーツを体験するレタリングワークショップ

時間:10:30～、13:30～

(いずれも約1時間30分) 先着順(定員20名)

楷書を手本とした書体から印刷に適した明朝体へと変遷する過程をレタリングを通して体験し、現在フォントとして流通している明朝体と比較することで、私たちが読み慣れた明朝体の特徴を浮かび上げます。

料金

WEB前売券:1,800円

当日券:2,000円

※共に、拝観料(萬福寺500円、宝蔵院300円)含む。

WEB前売申込期限

2021年11月21日(日)まで

当日、会場にて当日券販売あり。

詳しくはお茶の京都DMO
ホームページをご覧ください。

お茶の京都
DMOのHP



周辺MAP 自家用車でのご来場はご遠慮ください

